

平成 29 年度岡山市市民協働推進モデル事業

中間評価表

実施団体	NPO 法人ユースクリエイト		
協働部署	選挙管理委員会		
記入日	2017 年 8 月 10 日		

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
「新たなモデルづくり」 出前授業や主催者教育のプログラムとなる 新たなワークショップのモデルづくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では実施していない。 ・8月末に「岡山の政治をのぞいてみよう！」として市の予算や中長期計画をもとにしたワークショップを実施する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月末及び10月に実施するイベントにて、モデルとなるワークショップを試行する。 ・参加者の評価などをもとに内容を精査して、プログラムの体系化を図る。
「若者の政治参画のきっかけとなる場」 としての認知と機能の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・7・8・9月の3か月で延べ約100人の来館者・中高生の利用が広がりつつある。 ・岡山工業高校の学生が8人来所した日があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の利用者アンケート強化月間にて利用者の心理的变化や行動の変化を把握する。
スポットの周知拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委を通じて市内全中学校にチラシを配布。 ・スポットのチラシ配布に否定的・消極的な中学校が存在する。理由はスポットの利用に際して発生する事故や事件などの責任の所在が不明確であること。 ・利用動機は一定でない。きっかけは「チラシを見て」が多い。 	8月中に原田氏が市内2中学校を訪問してスポットの効果を説明する。(訪問校の調整は選管が行う。)
スポットの成果の周知拡大	「Wasaspot」のフェイスブックページにて各行事の案内と簡単な報告を発信している。	フェイスブックの運用を継続しつつ、特に中学生、高校生が集まる場であることをアピールする。
スポットの運営に関わる若者への教育効果	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点でスタッフは5名。毎日2名体制。 ・利用者への対応に追われており、大学生への効果まで意識が行き届いていない。 ・スタッフマニュアルを作成し、すでに運用を開始している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に運営メンバーの入れ替わりを予定している。 ・10月後半に運営メンバー向け研修を実施する。 ・運営メンバーの募集を目的とした説明会を実施する。原田氏の面識のある大学関係者の授業で募集をさせてもらう。
奉還町商店街の活性化への寄与 (世代間交流の創出など)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングイベントでは奉還町のゲストハウス「KAMP」よりゲストを招き、奉還町で開催しているイベントや奉還町の魅力などを参加者(中学生～大学生)に発信してもらった。 ・商店街へのチラシ配布、訪問等を実施したいが、大学生2人体制のため時間が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店主などをスポットに招き、中高生と交流してもらおう。専門性は問わず、大人としての意見や自身の経験を中高生に伝えてもらうなど。 ・スポットにて奉還町商店街内で開催される行事(政治や政策への理解が深まる行事が望ましい)の媒体を設置する。

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の経過における成果・課題を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを整理・共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない (協働部署が回答)。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない (実施団体が回答)。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。